

A-(5) 「 向上心, 個性の伸長 」 ～ 自分のマイナス面を見つめる ～

資料名

ひびわれ壺

- 1 日時 令和2年10月23日(金) 13:50～16:05
- 2 学年 第2学年1組 (男子16名 女子16名 合計32名)
- 3 場所 新館2F 2年1組教室

4 ねらい

自分をしっかりと見つめなおし、マイナス面も含めて自分であると受け入れ、マイナス面をプラスにとらえることが大切であることに気づかせる。

5 主題設定の理由

○ 教材観・題材観

本時の主題は、「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。」の内容項目に当たる。

誰にでもマイナス面はある。自分のマイナス面を否定することなく、しっかりと見つめ、プラス面もマイナス面も持っているありのままの自分を受け入れることが大切である。考え方次第で、マイナス面をプラスに変えられる可能性もある。マイナス面ばかりに目を向けてしまい悩んでいる生徒や自己肯定感が低い生徒が多く見られるが、不完全だと思う自分も自分だと認めてよいのだと気づききっかけとしたい。また、ありのままの自分を受け入れられるということは、他者に対しても寛容な態度を持つことに繋がる。

○ 資料観・指導観

本資料は、ひびが入った壺(通称ひびわれ壺)が主人公の絵本である。ひびわれ壺は、役に立たない自分をいつも恥じていた。その理由は、完璧な壺と比べて、いつも水を半分しか運ぶことができないからである。しかし、ひびわれ壺にも人の役に立つことがあった。自分の欠点を静かに見つめ、その欠点は、見方を変えれば長所になることに気づかせる資料である。

指導に当たっては、前半の活動で自己を見つめる問いを行う。自分のプラス面とマイナス面どちらも含めて自分を構成する一部であると認められるよう、マイナス面もネガティブにならないよう配慮して挙げさせていく。自分のプラス面を表現出来ない生徒には、以前道徳の授業で行った「自分のよいところ」を班のメンバーと交流した時の資料を使うなどして自信を持たせる。

後半の活動では、まず本文をゆっくりと読み上げる動画を鑑賞する。ひびわれ壺が自分のマイナス面だと思っていた部分が誰かを喜ばせていたという物語を通して、角度を変えてみればマイナス面もプラス面に変えられるということに気づかせていきたい。また、自分のマイナス面がコンプレックスにならず、前向きな気持ちになるよう自己肯定感を高めていく。

6 本時の展開

(1) 準備物

ワークシート、道徳ノート、テレビモニター、PC、パワーポイント資料、本文動画
 掲示物（ひびわれ壺のイラスト、花のイラスト）

(2) 学習の流れ

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
1 導入 [5分]		
<p>○ワークシートに自分のプラス面をできるだけたくさん記入する。</p> <p>○意見を発表する。</p>	<p>発問1「自分のプラス面(いいところ)はどういうところですか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>元気がある, 優しい, 気が利く, 明るい, 勉強ができる, 運動ができる</p> </div>	<p>・一通り記入が終わる頃に, 以前道徳の授業でクラスメイトに記入してもらった自分のよいところを見る。</p>
2 展開前半 [20分]		
<p>○ワークシートに自分のマイナス面を思いつく限り記入する。</p> <p>○意見を発表する。</p> <p>○ワークシートの④に記入する。</p> <p>○プラスだと思うか, マイナスだと思うか黒板に名前を貼る。</p> <p>○意見を発表する。</p> <p>○動画を通して本文を視聴する。</p>	<p>発問2「自分のマイナス面(いやなところ・変えたいところ)はどういうところですか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>うるさい, すぐに落ち込む, 飽き性, めんどくさがり, ネガティブ</p> </div> <p>発問3「自分のマイナス面を見て, どんなことを感じましたか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分では分かっているのになおせない。ダメな人間だな。とくに気にしていない。どうすることもできない。</p> </div> <p>ひびわれ壺のイラストを掲示する。</p> <p>発問4「ひびが入った壺がありますが, このひびはプラスですか, マイナスですか。その理由も書いてみましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【マイナス】 危なくて使えない。実用的でない。いつ割れるかわからない。水がもれて役にたたない。</p> <p>【プラス】 世界にひとつしかない。完全に割れてはいない。割れているところが味になっている。長年使われた証。</p> </div>	<p>・あらかじめ, この質問の内容は発表させないことを伝える。</p> <p>・自分のマイナス面に対する正直な気持ちを考えさせる。</p> <p>・自分のマイナス面とひびを重ね合わせる。</p> <p>・動画を3分27秒まで再生して一時停止する。</p>

3 展開後半 [23分]

<p>○ワークシートの⑤に記入する。</p> <p>○意見を発表する。</p> <p>○動画の続きを視聴する。</p> <p>○ワークシートの⑥に記入する。</p> <p>○プラスだと思うか、マイナスだと思うか黒板に名前を貼る。</p> <p>○意見を発表する。</p> <p>○自分のマイナス面をもう一度見て感じたことをワークシートの⑦に記入する。</p>	<p>ひびわれ壺のイラストの下に花のイラストを掲示する。</p> <p>発問5 「どうして、道ばたに花が咲いたと思いますか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・ひびわれ壺から水がもれて、花にかかり成長した。・こぼれた水が花の水やりがわりになった。</div> <p>中心発問（発問6） 「ひびわれ壺のひびはプラスですか、マイナスですか。その理由も書きましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・自分がまわりよりもおとっていると思っているところも、誰かの役にたつかもしいない。・自分は良くないと思っていたとしても、誰かが必要としてくれる。・ひびわれていることで、きれいな花をみることができた。</div> <p>「自分のマイナス面をもう一度見てみましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none">・マイナス面も見方を変えることでプラスになることを感じ取らせる。 ・3分12秒から動画を再生する。 ・マイナスからプラスに意見が変容した生徒などに意見を聞く。 ・自分のマイナス面の見方を変える。 ・記入後は指示や発表はさせず、自分を見つめ直す時間をとる。
--	--	---

4 終末 [2分]

<p>○教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none">・生徒の意見などをもとにしながらマイナス面を認める語りをすすめる。
-------------------	--	---

(3) 板書計画

